



教員が研究の楽しさを語る

第281回(10/3)八木澤史子先生推薦 ブックガイド



※掲載されている本はN棟3階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

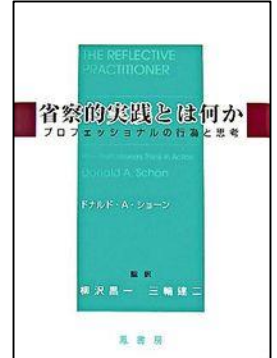
省察的实践とは何か：プロフェッショナルの行為と思考

著者：ドナルド・A・ショーン著

出版：鳳書房, 2007.11

コメント：専門職としての教師の特徴を表す言葉である「反省的实践家」についての書籍です。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10015748](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10015748)



Book2

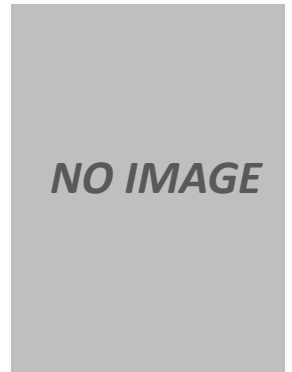
教師のわざ：研究の最前線

著者：生田孝至, 姫野完治編著

出版：一莖書房, 2022.3

コメント：すぐれた授業を行う教師がもつ知識や技術、態度を「わざ」と称し、その実態をウェアラブルカメラやVRなどの技術を用いて明らかにした研究を紹介した書籍です。

この本を読む→発注中



Book3

情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術：教職課程コアカリキュラム対応

著者：堀田龍也, 佐藤和紀編著

出版：三省堂, 2019.3

コメント：これまで重視されてきた教育方法とこれから求められる資質・能力の育成の手法について、実践的かつ具体的な内容を中心に紹介した書籍です。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10115573](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10115573)

